

2011年度

# 自己応募研究 プロジェクト 報告書



# 2011 年度自己応募研究プロジェクト報告書

## 目次

### ■2011 年度自己応募研究プロジェクトポスター展示開催にあたって……3

長谷川岳史（龍谷大学大学教育開発センター長・経営学部教授）

### ■2011 年度自己応募研究プロジェクト一覧……4

### ■各プロジェクトのポスター、研究概要、コメント ……5

- ・ 本学における発達障がいをもつ学生支援に関する予備的検討……7
- ・ 英語教育促進のための『Lunch Time English』を中心とした取り組み……11
- ・ 演習指導の高度化のための技術開発およびアーカイブ作成と共有……17
- ・ 大学から社会への効果的接合における情報教育のあり方について……25
- ・ 社会福祉実習におけるソーシャルワーカーとしての「利用者理解とその需要の把握及び支援計画作成」のための e ラーニング等を活用した効果的な教材開発……29
- ・ 「本学での e-ラーニングの普及と革新」 Part II : e-ラーニングの普及を妨げる要因……33
- ・ 伝統芸能の現在：2011 年の現場からの声……37
- ・ 保育実践力育成のための教授法開発とその検証  
— 「こども教育学科多目的室」活用を中心として—……41
- ・ アイデンティティの確立による生活充実を目標とした健康学習プログラム……45
- ・ 授業の内容・形態に応じたクリッカーの効果的な使用方法の研究……49
- ・ 仏教思想・文化に関する基礎学習のための教材開発……53
- ・ メディアリテラシー教育のための感性トレーニングの実現に向けて……57
- ・ 留学生を対象にした日本語論文入門科目の教授法開発およびテキスト作成……61

### ■チラシ……64

### ■各プロジェクトのポスター（拡大版）



# 2011年度自己応募研究プロジェクト ポスター展示開催にあたって

大学教育開発センターでは、教学改革を推進しFD活動を活性化するための本学の特色ある取組の一環として「自己応募研究プロジェクト」の制度を設けています。本プロジェクトは、授業や教材等の研究開発を奨励するため、学内の個人またはグループによる授業・教材等の研究開発に関する取組について学内応募を行い、選定された優れた取組やユニークな取組について経費支援等を行っています。1998年の制度開設以降、163件のプロジェクトが採択され、取り組まれた教職員の皆さんの努力により様々な研究成果を得ることができ、学内外からも評価を得てきました。

これまで、自己応募研究プロジェクトの研究内容や、研究成果の報告については、報告会の開催や、報告書の発行等を通して公開してきました。しかしながら、開催時期等の都合により参加が困難な状況が発生し、多くの教員、学生、職員の皆様に紹介することができませんでした。このような状況を解決するため、本年度からは、報告会を兼ねたポスター展示として紹介することとしました。ポスター展示を通し、できる限り多くの教員、学生、職員等の関係者の皆さんに、プロジェクトの研究内容や研究成果について紹介をしていきます。

また、ポスターの展示だけでなく、コメントシートを利用したセッションで、ご覧になられた皆さんからの感想や意見等を頂戴することにより、フィードバックやコミュニケーションをはかり、今後の活動の参考にしていきたいと思えます。

最後に、FDに終わりはありません。本学のFD活動を日常化し、試行錯誤を繰り返しながらあらゆる垣根を取り払い、コミュニケーションをとりながら情報を共有することが不可欠です。

大学教育開発センターでは、そのための場を作り、教育改善に関する様々な支援を行っていきたくと考えています。今回のポスター展示が今後の皆さんの教育活動に資することができれば幸いです。

大学教育開発センター長  
長谷川 岳史



















































































































































